



# News Release

08 - D - 1090  
2009年1月15日

学校法人東洋大学（証券コード：非上場）  
長期優先債務新規格付：「AA」（ダブルAフラット）  
格付けの見通し：「安定的」

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり長期優先債務\*の新規格付けをしましたのでお知らせします。

\*長期優先債務格付けとは、債務者（発行体）の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を評価したものです。このうち、期限1年以内の債務に対する債務履行能力を評価したものを短期優先債務格付けと位置づけています。個別債務の評価（債券の格付け、ローンの格付け等）では、債務の契約内容、債務間の優先劣後関係、回収可能性の程度も考慮するため、個別債務の格付けが長期優先債務格付けと異なること（上回ること、または下回ること）もあります。

発行体：学校法人東洋大学

【新規】

(対象)	(格付)	(見通し)
・長期優先債務	AA	安定的

【格付事由】

(1)東洋大学を中核とする学校法人でメインキャンパスは東京文京区白山に位置する。創立者井上円了が1887年に設立した私立哲学館を始まりとし、「諸学の基礎は哲学にあり」とする円了の意志を継承、「哲学」を通して「ものの見方、考え方」を身につけて社会に貢献する人材の育成を目指す。円了の「余資なく、優暇なき者」のための「社会教育」と「開かれた大学」という理念を現在に至るまで尊重している。キャンパス展開は文系5学部が集中する白山キャンパスを中心に、白山第2・川越・板倉・朝霞の5箇所に及び、兵庫県姫路市と茨城県牛久市に附属高校があり、全設置校の在籍者数合計は32,000人を超える。09年度には工学部を理工学部にも再編するほか、総合情報学部を新設、生命科学部を3学科体制に拡充、国際地域学部を白山第2へ移転するなど、郊外キャンパスにおいて社会ニーズに応える特色ある学部展開を図りつつ、白山地区への集約化を一段と進める計画である。

(2)国内の18歳人口は減少しているものの、立地に優れたメインキャンパスへの集約化や新学部設置などの効果を背景に、近年における本学の志願者数はむしろ増加傾向にある。但し、幾つかの既存学科において志願者数の減少傾向がみられるなど学部・学科毎の状況は一様ではない。郊外キャンパスにおける市場環境はより厳しさを増しているとみられ、09年度の川越・板倉を中心とする学部・学科の再編・新設が既存学部との差別化を明確にしつつ新たな志願者の増加に結びつき、学生確保の基板形成につながるかが注目される。尤も、これまで高い知名度や効果的な入試戦略を背景に新学部設置で一定の実績をあげており、今後も志願者数を相応の水準に維持することは可能とみられる。

格付けは、信用すべき情報に基づいたJCRの意見の表明であり、その正確性、完全性、特定の目的への適合性等は一切保証されておりません。また、格付けは、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の売買・保有を推奨するものではありません。格付けは原則として発行者から対価を受領して行っております。

※無断コピー・転送は固くお断りします。

株式会社 **日本格付研究所**

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル  
<http://www.jcr.co.jp>

<情報提供電子メディア（検索コード）>

BLOOMBERG（和文：JCRA / 英文：JCR） REUTERS（EJCRA）  
QUICK（和文：QR / 英文：QQ） JIJI PRESS 共同通信JLS

<お問い合わせ先>

情報・研修部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026



# News Release

- (3) 帰属収入に占める大学への依存度は9割超と高く、また学納金への依存度も8割を超えるが、規模や歴史を考慮すれば、寄付金の充実などによる収入多様化の余地は残されている。一方、費用面においては効率的な法人事務組織などを背景に人件費や管理経費の抑制を図っており、高水準の帰属収支差額比率を維持している。90年の着工から足掛け15年をかけて白山キャンパスの再開発を行ってきたほか、97年の板倉キャンパスの開設などの施設充実を進めてきたが、良好な収支状況を背景に借入金の返済も同時に進め、基本財産の維持・更新に向けた資金的な裏付けの充足度は高い。学校法人の収支や財務の安定性は教育方針や将来計画との対比において評価されるべきものであるが、本学では今後の施設強化などに伴い相応の資金が必要となる中、財政的なリスクは十分に抑制されている状況にあるとみている。
- (4) キャンパス再開発や、2部・通信制を含めた教育展開、私学においては相対的に低廉な学費設定などにより、多面的にアクセスのし易い教育の提供を行なっていることは、創立者の理念である「開かれた大学」を具現化したもので、志願者の状況などからは一定かつ広範な支持を得ているものと評価できる。一方で「哲学」を中心に据えた建学の精神は、志願者や学生・保護者・卒業生に対する説明力において、分かり難さを残しているが、現代社会が求める重要な要素として「哲学」の存在があることは論を待たない。本学が進める、「哲学」を標榜する教育・研究の実績をさらに顕在化させる中で、他大学との差別化に建学の精神を適切にアピールする努力がさらに求められる。また、志願者層が厚く競合の激しい市場位置にある本学では、ステークホルダーへの求心力強化を通じて知名度・ブランド力を一段と高めることが重要であり、JCRでは、全学的な広報活動の充実や施設整備を通じた各キャンパスにおける情報発信力の向上による志願者層の量的確保と質的改善、卒業生との関係緊密化を図ることが、本学の課題であるとみている。今後は、白山地区への一段の集約化の効果や、展開余力のある郊外キャンパスにおいて社会や地域のニーズへの対応力強化による発展状況を見定めつつ、こうした改革を実現するための法人・教学における組織体制の整備・強化の状況に注目していく。

以上

(チーフアナリスト 殿村 成信 シニアアナリスト 杉浦 輝一)

本体格付けを行うにあたり適用した主要な格付け手法は弊社のウェブサイト(<http://www.jcr.co.jp>)に「学校法人格付けの手法」として掲載されております。格付け手法は追加・変更されることもあります。その場合は、時系列的に掲載します。本リリースの公表日と格付け手法の公表日(各手法が有効となった日)とを照らし合わせた上で、上記格付け手法をご参照ください。

格付けは、信用すべき情報に基づいたJCRの意見の表明であり、その正確性、完全性、特定の目的への適合性等は一切保証されておりません。また、格付けは、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の売買・保有を推奨するものではありません。格付けは原則として発行者から対価を受領して行っております。

※無断コピー・転送は固くお断りします。

**株式会社 日本格付研究所**

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル  
<http://www.jcr.co.jp>

<情報提供電子メディア(検索コード)>

BLOOMBERG(和文:JCRA/英文:JCR) REUTERS(EJCRA)  
QUICK(和文:QR/英文:QQ) JIJI PRESS 共同通信JLS

<お問い合わせ先>

情報・研修部 TEL:03-3544-7013 FAX:03-3544-7026